

Ⓐ

液晶デジタルカメラ

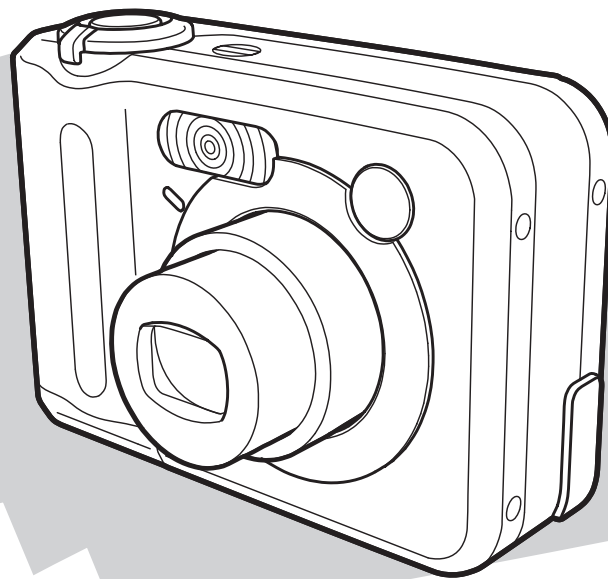
QV-R61

取扱説明書
(保証書付き)

ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本機をご使用になる前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。
- 本製品に関する情報は、QVNet (<http://QVNet.casio.co.jp/>) またはカシオホームページ (<http://www.casio.co.jp/>) でご覧になることができます。



K867FCM1PKC

CASIO®

J Z

はじめに

早分かりガイド

準備する

撮影する(基本編)

撮影する(応用編)

再生する

消去する

ファイルの管理について

その他の設定について

メモリーカードを使用する

プリント(印刷)する

パソコンでファイルを見る

パソコンでファイルを活用する

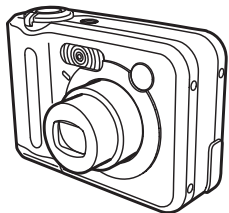
付 録

はじめに

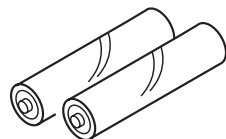
付属品の確認

箱を開けたら、まず以下の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。もし、これらの付属品が全部そろっていなかった場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

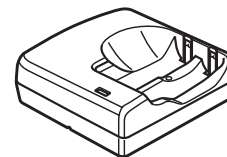
デジタルカメラ本体



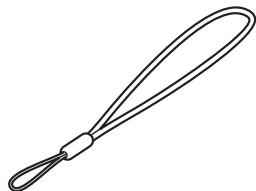
ニッケル水素充電電池 (HR-3UA)
(2本)



充電器 (BC-5H)



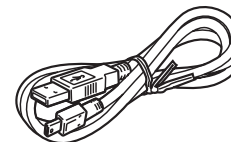
ストラップ



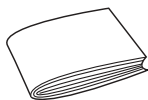
CD-ROM



USBケーブル



取扱説明書



取扱説明書
(保証書付き)

目次

はじめに	2
■ 付属品の確認	2
■ あらかじめ承知いただきたいこと	8
■ 本機の特徴	10
■ 使用上のご注意	12
撮影前のご注意(ためし撮りをしてください)	12
データエラーのご注意	12
使用環境について	12
結露について	12
レンズについて	13
その他の注意	13
早分かりガイド	14
■ はじめに電池を充電する	14
■ 画面メッセージの言語/日時を設定する	15
■ 撮影する	16
■ 撮影したファイルを見る(再生する)	17
■ 撮影したファイルを消去する	17

準備する 18

■ 各部の名称	18
■ 液晶モニターの表示内容	20
RECモード時	20
PLAYモード時	21
液晶モニターの表示内容を切り替える	22
■ ランプについて	23
■ ストラップを取り付ける	23
■ 電源について	24
電池を充電する	24
電池を入れる	27
電池を取り出す	28
家庭用電源を使う	31
電源を入れる/切る	32
電池の消耗を抑えるための機能	33
■ メニュー画面の操作について	34
■ 表示言語/日時を設定する	36

撮影する (基本編) 38

■基本的な撮影のしかた	38
撮影モードを設定する	38
カメラの正しい構えかた	39
撮影する	40
撮影時のご注意	42
オートフォーカスのご注意	42
撮影時の画面のご注意	43
■ファインダーを使って撮影する	43
■ズームを使って撮影する	44
光学ズームを使う	44
デジタルズームを使う	44
■フラッシュを使って撮影する	46
フラッシュの状態について	47
フラッシュの光量を変える	48
フラッシュ撮影時の光量の不足を補う (フラッシュアシスト機能)	48
フラッシュ使用時のご注意	49
■セルフタイマーを使って撮影する	50
■画像サイズを変更する	51
■画質を変更する	52

撮影する (応用編) 53

■ピント合わせの方法を変える	53
自動でピントを合わせる(オートフォーカス)	54
近くを撮影する(マクロ)	55
遠くを撮影する(無限遠)	56
手動でピントを合わせる(マニュアルフォーカス)	56
フォーカスロック	57
■露出を補正する(EVシフト)	58
■ホワイトバランスを変える	59
マニュアルホワイトバランスを設定する	60
■高速で連続撮影する(高速連写モード)	61
■さまざまなシーンを選んで撮影する (ベストショットモード)	62
撮影したいシーンを登録する(カスタム登録)	64
■二人で記念撮影をする(カップリングショット)	66
■好みの構図で記念撮影をする(プリショット)	67
■名刺や書類などを撮影する(ビジネスショット機能)	68
ビジネスショット機能で撮影する	69
■動画を撮影する(ムービーモード)	70
■ヒストグラムを活用する	72
■各種機能を設定する	73
ISO感度を変える	74

測光方式を変える	74
色を変える(フィルター)	75
シャープネスを変える	75
彩度を変える	76
コントラストを変える	76
グリッドを表示する	77
撮影した画像を確認する(撮影レビュー)	77
画面上のアイコンの意味を確認する (アイコンガイド機能)	78
左右キーに機能を割り当てる(キーカスタマイズ)	79
各種設定を記憶させる(モードメモリ)	79
各種設定をリセットする	80

再生する 81

■基本的な再生のしかた	81
■画像を拡大して表示する	81
■画像サイズを変える(リサイズ)	82
■画像の一部を切り抜く(トリミング)	83
■動画を再生する	84
■1つの画面に9つの画像を表示する	84
目当ての画像を素早く表示する	85
■カレンダー表示をする	85

■画像を自動的にページめくりさせる (スライドショー)	86
表示画像を設定する	87
時間を設定する	88
間隔を設定する	88
■回転表示させる	88
■画像ルーレット機能を使う	89

消去する 90

■1ファイルずつ消去する	90
■すべてのファイルを消去する	91

ファイルの管理について 92

■フォルダの分類について	92
メモリー内のフォルダ/ファイルについて	92
■記録したファイルにメモリープロテクト (消去防止)をかける	93
1ファイル単位でメモリープロテクトをかける	93
全ファイルにメモリープロテクトをかける	94
■お気に入りフォルダを使う	94
お気に入りフォルダにファイルをコピー(登録)する	94

- お気に入りフォルダのファイルを表示する 95
- お気に入りフォルダから1ファイルずつ消去する 96
- お気に入りフォルダの全ファイルを消去する 96

その他の設定について 97

- ファイルの連番のカウント方法を切り替える 97
- 操作音のオン/オフを切り替える 97
- 起動画面のオン/オフを切り替える 98
- エンディング画面に表示する画像を設定する 99
 - エンディング画面に表示する画像を設定する 99
 - エンディング画面に表示する画像の設定を解除する ... 100
- アラームを鳴らす 100
 - アラームを設定する 100
 - アラームを止める 101
- 日時を設定し直す 101
 - ホームタイムの都市を設定し直す 101
 - ホームタイムの日時を設定し直す 102
 - 日付の表示スタイルを切り替える 102
- ワールドタイムを表示する 103
 - ワールドタイムを表示させる 103
 - ワールドタイムを設定する 103
 - サマータイムを設定する 104
- 表示言語を切り替える 105

- USB端子の通信方法を切り替える 105
- 【📷】(REC)／【▶】(PLAY)の動作を設定する .. 106
- 内蔵メモリーをフォーマットする 106

メモリーカードを使用する 107

- メモリーカードを使う 108
 - メモリーカードを入れる 108
 - メモリーカードを取り出す 109
 - メモリーカードをフォーマットする 109
 - メモリーカードのご注意 110
- ファイルをコピーする 110
 - 内蔵メモリーからメモリーカードに
ファイルをコピーする 110
 - メモリーカードから内蔵メモリーに
ファイルをコピーする 111

プリント（印刷）する 112

- プリント(印刷)するには 112
- DPOF機能について 113
 - 1画像単位で印刷設定する 113
 - 全画像に印刷設定する 114

■PictBridge/USB DIRECT - PRINTについて	115
1枚ずつプリントする	116
まとめてプリントする	118
プリントについてのご注意	118
■PRINT Image MatchingⅢについて	119
■Exif Printについて	119

パソコンでファイルを見る 120

■お持ちのパソコンがWindowsの場合	120
USB接続時のご注意	126
■お持ちのパソコンがMacintoshの場合	126
USB接続時のご注意	130
■パソコンでいろいろなことができます	130
■メモリーカードを直接接続して取り込む	131
■メモリー内のデータについて	132
DCF規格について	132
メモリー内のフォルダ構造	132
このデジタルカメラで扱える画像ファイル	133
パソコン上で内蔵メモリー/メモリーカードを 扱うときのご注意	134

パソコンでファイルを活用する 135

■アルバム機能を使う	135
アルバムを作成する	135
アルバムのレイアウトを選ぶ	137
アルバムの詳細を設定する	137
アルバムファイルを見る	139
アルバムを保存する	142
アルバムを消去する	142
■ソフトをインストールする	142
付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラ アプリケーションソフトウェア)について	142
パソコンの動作環境について	144
インストールする	145

付録 149

■メニュー一覧表	149
RECモード	149
PLAYモード	150
■ランプの状態と動作内容	151
RECモード	152
PLAYモード	152
充電器	153

■故障かな?と思ったら	154
現象と対処方法	154
USBドライバを正しくインストールできない場合は ...	157
画面に表示されるメッセージ	158
■主な仕様/別売品	160
主な仕様	160
別売品	164
■サービスステーション/相談窓口	164
カシオテクノ・サービスステーション	164
カシオお客様ご相談窓口	165
■保証規定	165
■保証・アフターサービスについて	166
■索引	168
■QVNetのお知らせ	179

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 万一、Photo Loader、Photohands使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■著作権について

個人で楽しむ場合などのほかは、画像／動画フォーマットファイルを権利者に無断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのファイルを有償・無償に関わらず権利者に無断でネット上で記載したり、第三者に配付したりすることも著作権法や国際条約で固く禁止されています。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

- SDロゴは登録商標です。
- Windows、Internet ExplorerおよびDirectXは米国マイクロソフト社の商標です。
- AppleおよびMacintoshは米国アップルコンピューター社の商標です。
- MultiMediaCard™は、独Infineon Technologies AG社の商標であり、MMCA(MultiMediaCard Association)にライセンスされています。

- Adobe、Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
- Photo Loader、Photohandsはカシオ計算機(株)の著作物であり、上記を除き、これにかかわる著作物およびその他の権利はすべてカシオ計算機(株)に帰属します。

本機の特徴

- 有効画素数600万画素
フォトプリンタ等できめ細やかな高画質画像が印刷できるCCD
総画素数637万画素の高画質CCD搭載。
- 2.0型TFTカラー液晶モニター搭載
- 12倍シームレスズーム搭載
光学ズーム3倍／デジタルズーム4倍
- 約9.7MBフラッシュメモリー内蔵
メモリーカードを使用しなくても撮影ができます。
- 拡張用メモリーカードとしてSDメモリーカードとMMC(マルチメディアカード)に対応
- カメラをUSBケーブルで接続するだけで、簡単にパソコンへ画像データを転送することができます(120、126ページ)。
- 高速連写モードを搭載(61ページ)
高速な連続撮影ができます。
- ベストショット機能搭載(62ページ)
煩わしい設定をカメラが自動的に行うので、簡単に綺麗な写真を撮ることができます。

- ビジネスショット機能を搭載(68ページ)
名刺や書類、ホワイトボードなどを斜めから撮影しても、正面から撮影したように自動的に補正します。
- 2つの記念撮影支援機能を搭載(66、67ページ)
二人きりでも二人揃って記念撮影ができるカップリングショット機能、安心して他人に構図をまかせることができるプリショット機能があります。
- スライドショー機能搭載(86ページ)
撮影した内容を自動的に次々とページめくりさせて楽しむことができます。
- トリプルセルフタイマーモード搭載(50ページ)
セルフタイマー撮影を自動的に3回くり返すモードを搭載しました。
- リアルタイムヒストグラム機能を搭載(72ページ)
ヒストグラム表示を確認しながら露出(光の量や明るさ)の調節ができます。難しい露出条件でも、意図した露出の画像が手軽に撮影できます。
- ワールドタイム機能搭載(103ページ)
簡単に現地の時間にセットできます。世界162都市(32タイムゾーン)に対応しています。

- アラーム機能搭載(100ページ)
アラーム機能付きですので、目覚まし時計の代わりにもなります。また、登録した画像をアラームと同時に表示させることもできます。
- アルバム機能搭載(135ページ)
撮影した画像をレイアウトしたHTMLファイルを作成し、Webブラウザで見たり、印刷することができます。また、自分のホームページ用データとしても利用することができます。
- カレンダー表示が可能(85ページ)
1ヶ月分のカレンダー表示の日付上に、その日に撮影した最初の画像を表示させることができ、見たい画像を素早く探すことができます。
- DCF(Design rule for Camera File system)対応(132ページ)
画像データは統一規格のDCF規格に準拠しているため、同規格に準じた他の機器との互換性があります。
- DPOF(Digital Print Order Format)対応(113ページ)
DPOF規格に対応しているため、同規格に準じたデジタルDPEサービスを簡単に利用することが可能です。
- PRINT Image MatchingⅢ対応(119ページ)
本製品はPRINT Image MatchingⅢに対応しています。PRINT Image MatchingⅢ対応プリンタでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。
- USB DIRECT - PRINT、PictBridgeに対応(115ページ)
この規格に対応したプリンタに直接接続して、画像を印刷することができます。
- Photo Loader、Photohands付属(143ページ)
好評な自動取り込み機能を備えたPhoto Loaderを付属。レタッチ機能を備えたPhotohandsも付属。更に多彩に画像を活用できます。

使用上のご注意

撮影前のご注意(ためし撮りをしてください)

必ず事前にためし撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

データエラーのご注意

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いを
すると内部のデータが破壊される恐れがあります。
 - － カメラの動作中に電池やメモリーカードを抜いたり、USB
ケーブルを接続した
 - － 電源を切ったときに【動作確認用ランプ】が点滅している状態
で電池やメモリーカードを抜いたり、USBケーブルを接続
した
 - － 通信中にUSBケーブルがはずれたり、カメラからACアダプ
ターがはずれた
 - － 消耗した電池を使用し続けた
 - ※ 消耗した電池を使用し続けると、カメラが故障する場合があります。
すみやかに電池を充電するか、新しい電池に交換してください。
 - － その他の異常操作

このような場合、画面にメッセージが表示される場合があります
(158ページ)。画面に対応したご処置をお願いします。

使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、0℃～40℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
 - － 直射日光のあたる場所、湿気やホコリの多い場所
 - － 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
 - － 日中の車内、振動の多い場所

結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に
温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が
付く(結露)ことがあります。結露は故障の原因になりますの
で、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の
間を移動する前に、本機をビニール袋で密封しておき、移動後
に本機を周囲の温度に充分慣らしてから取り出して、電池カ
バーを開けたまま数時間放置してください。

レンズについて

- レンズ面は強くこすったりしないでください。レンズ面に傷が付いたり、故障の原因となります。
- レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、レンズ面には触れないでください。レンズ面の汚れは、ブローア等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

その他の注意

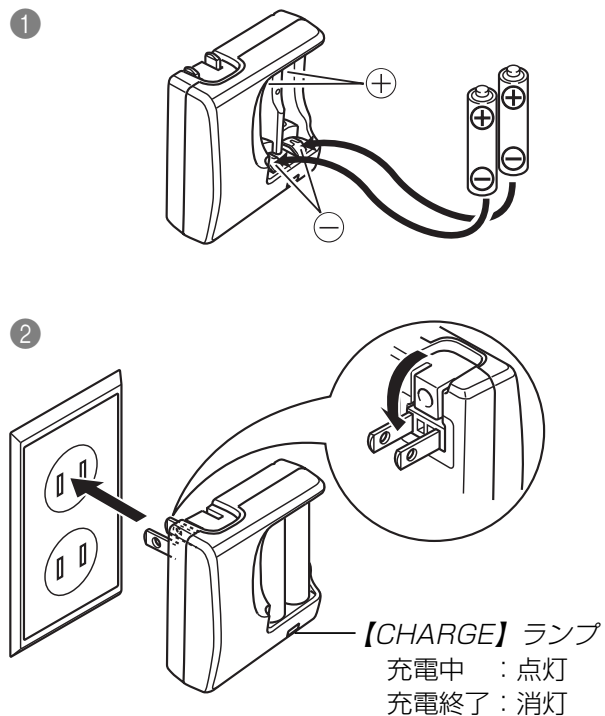
- 使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 本機が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

早分かりガイド

はじめに電池を充電する

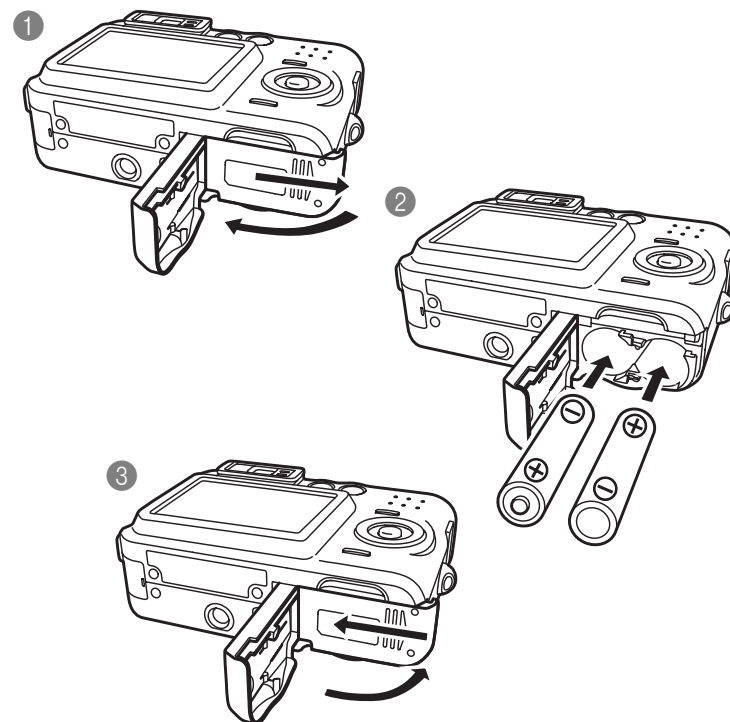
1. 付属のニッケル水素充電電池(HR-3UA)を充電します(24ページ)。

- 約4時間でフル充電されます。



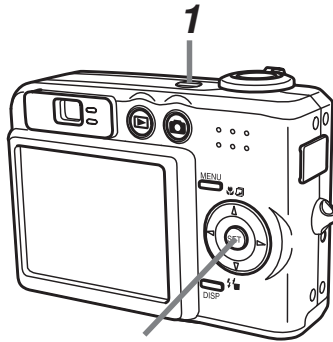
2. 電池を入れます(27ページ)。

- 充電はできませんが、市販の単3形リチウム電池／アルカリ電池を使用することもできます。



画面メッセージの言語／日時を設定する

重要! • お買い上げ後、初めて撮影する前に設定してください(詳しくは36ページ参照)。



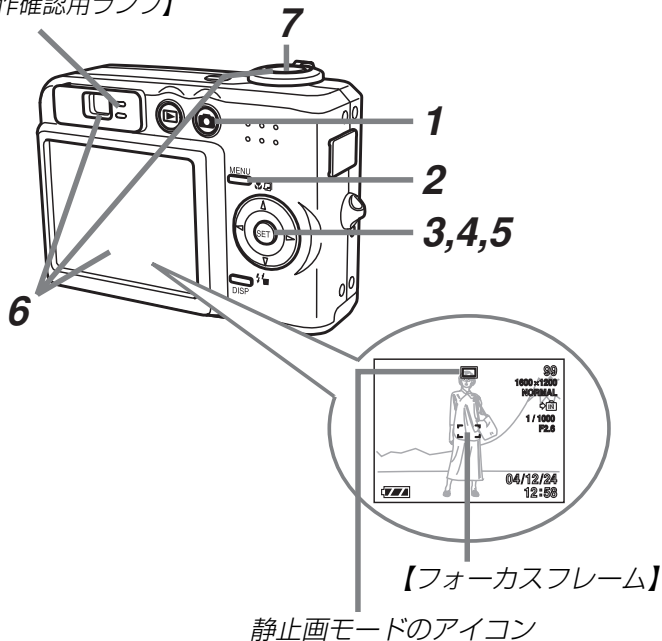
2, 3, 4, 5, 6, 7, 8

1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。
2. 【▲】を押して言語(日本語)を選び、【SET】を押して言語を設定します。
3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自宅都市のエリアを選び、【SET】を押して自宅都市のエリアを設定します。
4. 【▲】【▼】で自宅都市を選び、【SET】を押して自宅都市を設定します。
 - 日本で使う場合は“Tokyo”を選んでください。
5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選び、【SET】を押してサマータイムを設定します。
 - 日本で使う場合は“切”を選んでください。
6. 【▲】【▼】で日時の表示スタイルの設定を選び、【SET】を押して表示スタイルを設定します。
7. 日付と時刻を合わせます。
8. 【SET】を押します。
 - 設定を終了します。

撮影する

(詳しくは38ページ参照)

緑の【動作確認用ランプ】



1. 【】(REC)を押します。

2. 【MENU】を押します。



3. 【◀】【▶】で“撮影設定”タブを選びます。

4. 【▲】【▼】で“撮影モード”を選んで、【▶】を押します。

5. 【▲】【▼】で“ 静止画”を選んで、【SET】を押します。

- 【液晶モニター】に“” (静止画モード)が表示されます。

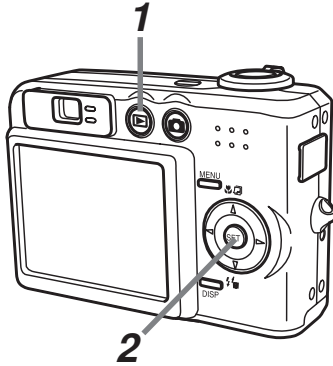
6. 撮影する被写体にカメラを向け、【液晶モニター】または【ファインダー】を覗いて、【シャッター】を半押ししてピントを合わせます。

- ピントが合うと【フォーカスフレーム】が緑色になり、緑の【動作確認用ランプ】が点灯します。

7. カメラを固定し、静かに【シャッター】を押します。

撮影したファイルを見る(再生する)

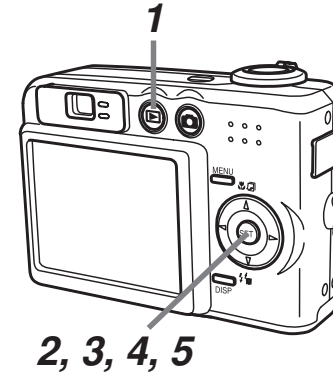
(詳しくは81ページ参照)




1. **[▶]**(PLAY)を押します。
2. **[◀][▶]**を押すと、記録したファイルの戻し/送りができます。

撮影したファイルを消去する

(詳しくは90ページ参照)



1. **[▶]**(PLAY)を押します。
2. **[▼]**()を押します。
3. **[◀][▶]**を押して、消去したいファイルを選びます。
4. **[▲][▼]**を押して、“消去”を選びます。
 - 消去を中止したいときは、“キャンセル”を選んでください。
5. **[SET]**を押します。
 - ファイルが消去されます。

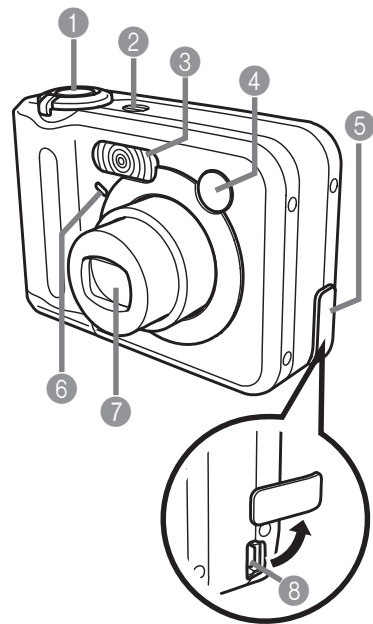
準備する

初めてご使用になる方は、撮影前の準備を行ってください。

各部の名称

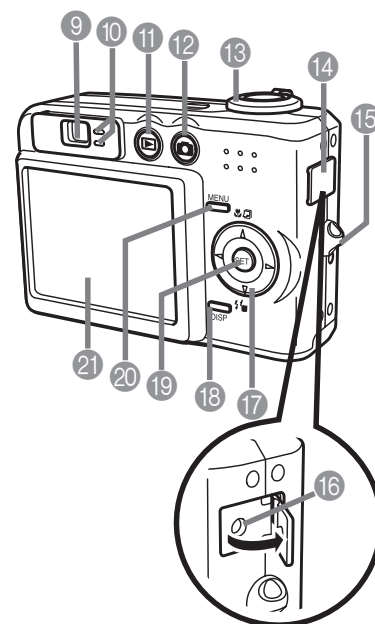
この取扱説明書では、本機の各部の名称を次のように【 】を使って表記します。スイッチやボタンなどの場所がわからなくなった場合は、こちらをご参照ください。

■ 前面部



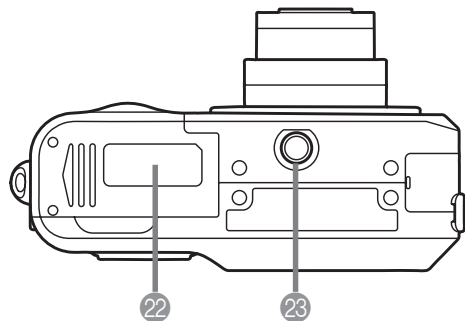
- 1 【シャッター】
- 2 【電源ボタン】
- 3 【フラッシュ】
- 4 【ファインダー】
- 5 【端子カバー】
- 6 【セルフタイマーランプ】
- 7 【レンズ】
- 8 【USB】(USB端子)

■ 後面部



- 9 【ファインダー】
- 10 【動作確認用ランプ】
- 11 【▶】(PLAYモード)
- 12 【REC】(RECモード)
- 13 【ズームレバー】
- 14 【端子カバー】
- 15 【ストラップリング】
- 16 【DC IN 3V】
- 17 【コントロールボタン】
※本書では、このボタンを
【▲】【▼】【◀】【▶】と表記し
ます。
- 18 【DISP】
- 19 【SET】
- 20 【MENU】
- 21 【液晶モニター】

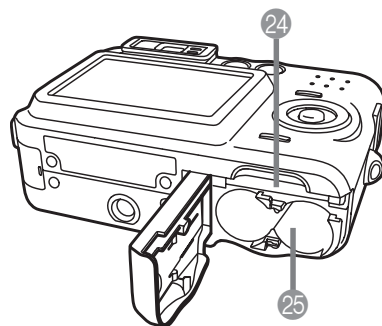
■ 底面部



22 【電池カバー】

23 【三脚穴】

※ 三脚に取り付けるときに使用します。



24 【メモリーカード挿入口】

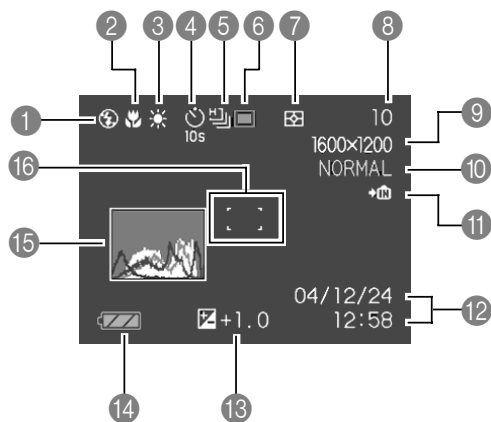
25 【電池室】

液晶モニターの表示内容

【液晶モニター】には、さまざまな情報が表示されます。

• この章の画面は、説明に必要な内容を表示させたものですので、実際の画面とは一致しません。あらかじめご了承ください。

RECモード時



① フラッシュモード表示 (46ページ)

表示なし (フラッシュオート)

- (発光禁止)
- (強制発光)
- (赤目軽減)

• フラッシュオート時にフラッシュ発光する場合は、【シャッター】を半押ししたときに が表示されます。

② フォーカスモード (53ページ)

表示なし (オートフォーカス)

- (マクロ<接写>)
- (無限遠)
- (マニュアルフォーカス)

③ ホワイトバランス表示 (59ページ)

表示なし (オート)

- (太陽光)
- (曇天)
- (日陰)
- (蛍光灯1)
- (蛍光灯2)
- (電球)
- (マニュアル)

④ セルフタイマー (50ページ)

表示なし (1枚撮影)

- (セルフタイマー10秒)
- (セルフタイマー2秒)

(トリプルセルフタイマー)

⑤ 連写モード(61ページ)

表示なし (1枚撮影)

- (高速連写)

⑥ 撮影モード(38ページ)

- (静止画モード)
- (ベストショットモード)
- (ムービーモード)

⑦ 測光方式表示(74ページ)

- (マルチ測光)
- (中央重点測光)
- (スポット測光)

⑧ 撮影可能枚数 (70、160ページ)

ムービーモード時: 残り撮影時間

⑨ 画像サイズ(51ページ)

- 2816×2112 pixels
- 2816×1872 (3:2) pixels
- 2048×1536 pixels
- 1600×1200 pixels
- 1280×960 pixels
- 640×480 pixels

⑩ 画質(52ページ)

- FINE (高精細)
- NORMAL (標準)
- ECONOMY (エコノミー)

⑪ メモリー表示(107ページ)

- (内蔵メモリー使用中)
- (メモリーカード使用中)

⑫ 日付/時刻(101ページ)

⑬ 露出補正表示(58ページ)

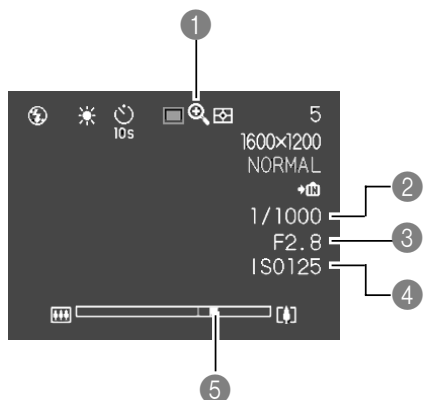
⑭ バッテリー残量表示 (28ページ)

⑮ ヒストグラム(72ページ)

⑯ フォーカスフレーム (41ページ)

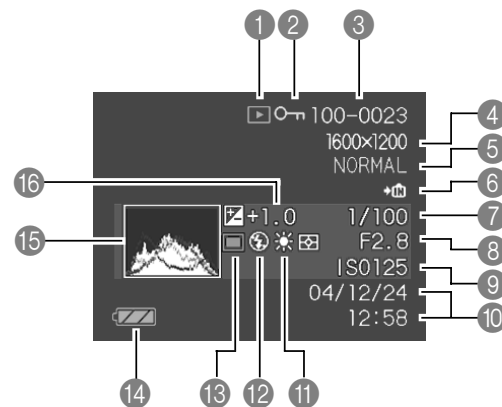
- ピント合わせ完了時: 緑色に点灯
- ピント合わせ不可時: 赤色に点灯

- 参考** • 下記の機能を切り替えたとき、アイコンの意味(アイコンガイド)が表示されます。なお、このガイドは表示させないこともできます(78ページ)。
撮影モード、フラッシュモード、フォーカスモード、ホワイトバランス、セルフタイマー、測光方式



- ① デジタルズーム表示 (45ページ)
 - ② シャッター速度(41ページ)
 - ③ 絞り値(41ページ)
 - ④ ISO感度(74ページ)
 - ⑤ ズームバー(45ページ)
- 絞りとシャッター速度はAE(自動露出)が適正範囲でない場合、【シャッター】を半押ししたときに橙色で表示されます。
- 左部分が光学ズーム域
右部分がデジタルズーム域

PLAYモード時













- ① ファイル形態
 - ▶ (静止画)
 - ▶ (動画)
- ② プロテクト表示(93ページ)
- ③ フォルダ名/ファイル番号 (92ページ)

例：メモリー内のフォルダ名が
100CASIO、ファイル名が
CIMG0023.JPGの場合

100-0023
└──┬──
フォルダ名 ファイル名
- ④ 画像サイズ(51ページ)
 - 2816×2112 pixels
 - 2816×1872 (3:2) pixels
 - 2048×1536 pixels
 - 1600×1200 pixels
 - 1280× 960 pixels
 - 640× 480 pixels
 - 動画再生時：再生時間
- ⑤ 画質(52ページ)
 - FINE (高精細)
 - NORMAL (標準)
 - ECONOMY (エコノミー)
- ⑥ メモリー表示 (107ページ)
 - ▶ (内蔵メモリー使用中)
 - ▶ (メモリーカード使用中)

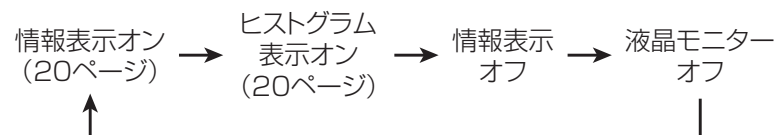
準備する

- ⑦ シャッター速度(41ページ) ⑫ フラッシュモード表示(46ページ)
- ⑧ 絞り値(41ページ)
- ⑨ ISO感度(74ページ)
- ⑩ 日付/時刻(101ページ)
- ⑪ ホワイトバランス表示(59ページ)
- ⑬ 撮影モード(38ページ)
- ⑭ バッテリー残量表示(28ページ)
- ⑮ ヒストグラム(72ページ)
- ⑯ 露出補正表示(58ページ)
- AWB** (オート)
-  (太陽光)
-  (曇天)
-  (日陰)
-  (蛍光灯1)
-  (蛍光灯2)
-  (電球)
- MWB** (マニュアル)
-  (発光)
-  (非発光)
-  (赤目軽減)
-  (静止画モード)
- BS** (ベストショットモード)

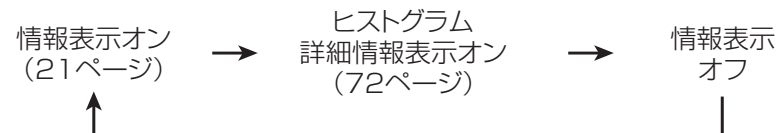
液晶モニターの表示内容を切り替える

【DISP】を使って、【液晶モニター】に表示される内容を切り替えることができます。

■ RECモード時



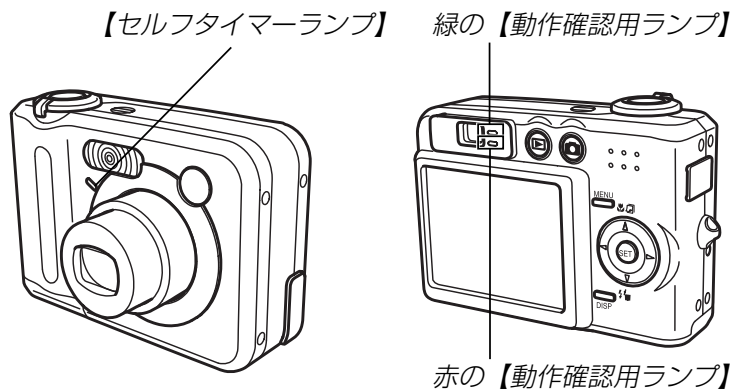
■ PLAYモード時



- 重要!**
- 下記のモードでは、「液晶モニターオフ」にはなりません。
PLAYモード、ベストショットモード、ムービーモードの撮影待機中
 - ムービー撮影中は、【DISP】を使って【液晶モニター】の表示内容を切り替えることはできません。

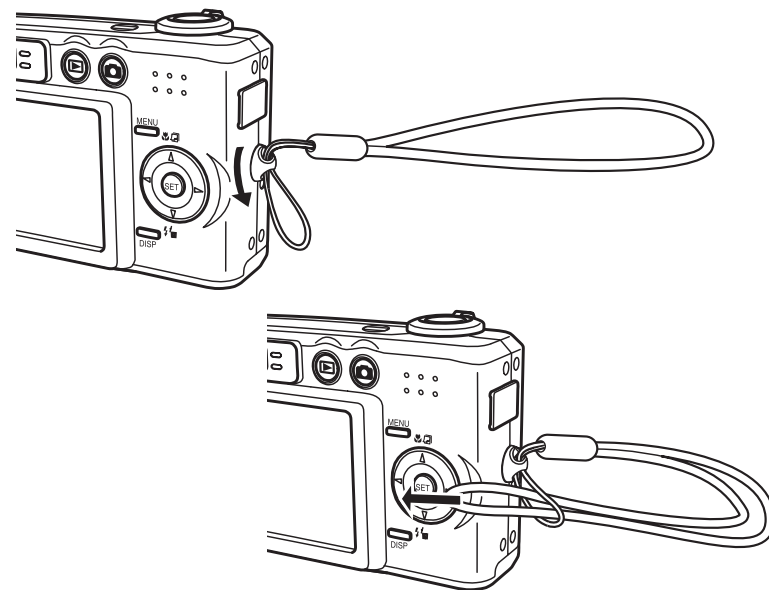
ランプについて

ランプの色や点灯、点滅によってカメラの動作状況を知ることができます。詳しくは「ランプの状態と動作内容」(151ページ)をご覧ください。



ストラップを取り付ける

ストラップは、図のように【ストラップリング】に取り付けます。



- 重要!**
- 本機操作時は落下を防止するため、必ずストラップに指を通した状態で使用してください。
 - 付属のストラップは本機専用です。他の用途に使用しないでください。
 - ストラップを持って本機を振り回さないでください。

準備する

電源について

本機は下記のいずれかの電源が利用できます。

電池

- 単3形ニッケル水素充電電池HR-3UA(容量2100mAh/最低保証容量2000mAh)：2本(付属品)

電池は、最初充電されておりません。「電池を充電する」に従って充電してください。

- 単3形ニッケル水素充電電池HR-3UB(容量2300mAh/最低保証容量2150mAh)：2本
- 単3形リチウム電池FR6：2本
- 単3形アルカリ電池LR6：2本

※ 上記以外の電池を使用した場合、電池の特性上、動作性能保証ができませんことがあります。

単3形アルカリ電池(LR6)使用時、5℃以下の温度ではカメラが動作しない場合があります。

家庭用電源

- ACアダプター：AD-C30

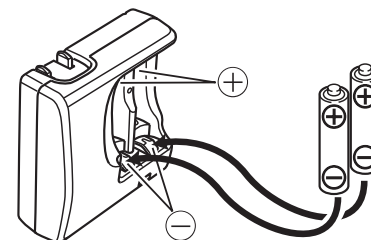
電池を充電する

付属の充電器(BC-5H)で、ニッケル水素充電電池(HR-3UAまたはHR-3UB)が充電できます。

ニッケル水素充電電池(HR-3UAまたはHR-3UB)以外の電池は充電しないでください。乾電池や他の充電式電池を充電すると液漏れ、発熱、破裂することがあります。

■ 充電のしかた

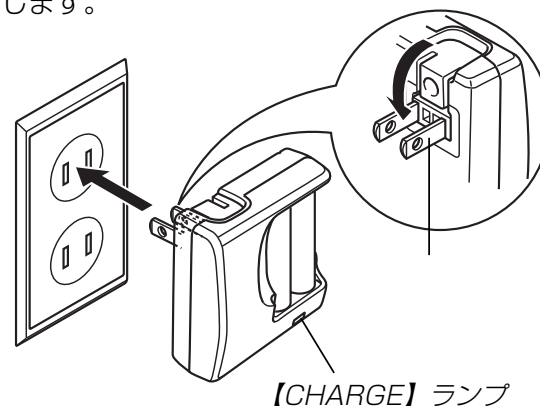
1. 電池と充電器の極性を合わせ、電池を充電器にセットします。



2. 【電源プラグ】を矢印の方向に引き起し、家庭用コンセントに接続します。

- 【CHARGE】ランプが点灯します。
- 約4時間で充電が完了します。

※ 充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって若干変化します。



3. 充電が完了すると、【CHARGE】ランプが消灯します。

4. 充電完了後は充電器をコンセントから抜き、電池を取り出します。

5. 【電源プラグ】を倒し、収納してください。

- 重要!**
- 充電開始時に電池温度または充電器の温度が約0℃以下、または約40℃以上のときは、【CHARGE】ランプがゆっくりと点滅し、充電待ちの状態になります。充電可能な温度になると、【CHARGE】ランプが点灯に変わり、自動的に充電を開始します。
 - 使用した直後の熱くなった電池をすぐに充電すると、十分に充電されない場合があります。いったん電池が冷えるのを待ってから充電してください。
 - 電池は使用せずに放置していた場合でも、自己放電します。必ず充電してからご使用ください。
 - 本電池はデジタルカメラ用です。その他の機器でもご使用いただけますが、ご使用の機器の取扱説明書で利用できるかどうかを確認してください。
 - 本電池の電池寿命は使用状況によって異なりますが、約500回の充放電ができます。
 - 充電中、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。そのような場合は、テレビやラジオからできるだけ離れたコンセントをご使用ください。
 - 充電器の接点や、電池の端子が汚れていると正常に充電できないことがあります。時々乾いた布で拭いてください。

■ 海外でのご使用について

- 充電器はAC100V～240V・50/60Hzの電源に対応していますので、海外への旅行の際にもご利用できます。ただし、使用する国によってはプラグ形状が合わないなどの問題があるため、旅行代理店などで、現地で使用可能かどうかを事前にご確認ください。

■ 充電器使用時のご注意

- 充電中、充電器は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、充電器をコンセントから必ずはずしてください。
- この充電器は、垂直または床面(水平)状態で使用してください。

■ 電池使用時のご注意

使用上のご注意

- 充電は10℃～35℃の温度範囲で行ってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、十分な充電ができないことがあります。
- 充電直後でも電池の使用時間が大幅に短くなった場合は、電池の寿命と恐れられますので、新しいものをお買い求めください。

保存上のご注意

- ニッケル水素充電電池は小型で高容量の電池ですが、充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。
 - － 使用しないときは必ず充電電池をデジタルカメラから取りはずしてください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れていますので、電池が消耗し、充電に時間がかかったり、こわれたりします。
 - － 乾燥した涼しい場所(20℃以下)で保存してください。
 - － 長時間、電池を使用しなかったときは、2～3回充放電を繰り返した後、使用してください。

■ 充電式電池の取扱いについて

● リサイクルのお願い



Ni-MH

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

<最寄りのリサイクル協力店 へ>

詳細は、社団法人 電池工業会小形二次電池再資源化推進センターのホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.JBRC.com/>

● 使用済み充電式電池の取扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

■ 別売の電池について

本機で使用するニッケル水素充電電池は、三洋電機(株)製のニッケル水素充電電池(HR-3UAまたはHR-3UB)のご使用をおすすめします。他の充電式電池については動作保証いたしかねます。

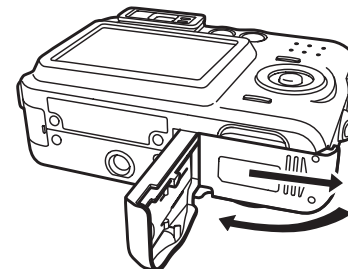
ニッケル水素充電電池(2本セット) : HR-3UA-2BP
HR-3UB-2BP

重要! • 電池は、必ず同じ製品を2本セットでご使用ください。違う種類の電池や、充電状態の異なる電池を組み合わせると、電池寿命を短くしたり、カメラの故障の原因となります。

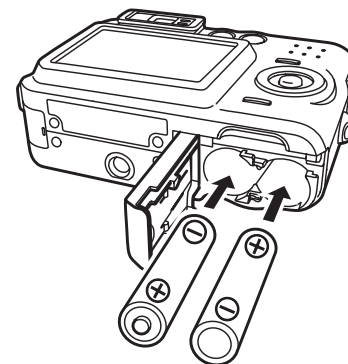
電池を入れる

電池交換の際は、電源を切った状態で行ってください。

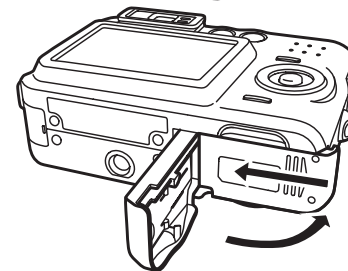
1. 本体底面の【電池カバー】を矢印の方向にスライドさせて開きます。



2. 電池を図のようにセットします。



3. 【電池カバー】を矢印の方向へ押しつけながら、スライドして閉めます。

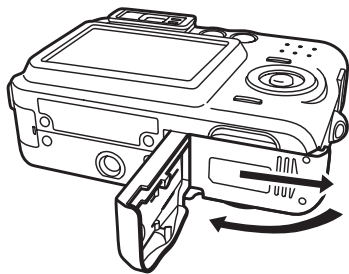


準備する

重要! • 電池は、必ず付属のニッケル水素充電電池か、単3形の指定電池をご使用ください。

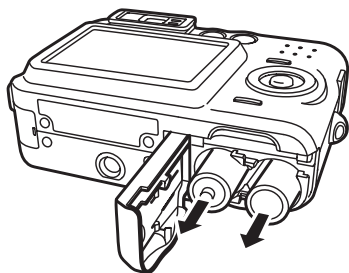
電池を取り出す

1. 本体底面の【電池カバー】を矢印の方向にスライドさせて開きます。



2. カメラを傾けて電池を取り出します。

- 電池を落とさないようにご注意ください。



■ バッテリー残量表示

電池が消耗すると【液晶モニター】に表示されているバッテリー残量表示が下記表のように変化します。[]の状態は電池残量が少ないことを表しています。[]の状態では撮影できません。速やかにすべての電池を充電し直すか、新しい電池に交換してください。

電池残量	多 ←————→ 少
画面情報表示	[] → [] → [] → []
残量表示の色	みず色 → オレンジ色 → 赤色 → 赤色

■ 電池寿命の目安

下記の電池寿命は、温度23°Cで使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間、または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命が短くなります。

	ニッケル水素充電電池	単3形アルカリ電池
撮影枚数(CIPA) (撮影時間) ^{※1}	約280枚 (約2時間20分)	約50枚 (約25分)
連続撮影枚数 (撮影時間) ^{※2}	約900枚 (約2時間30分)	約245枚 (約40分)
連続再生時間 ^{※3}	約4時間20分	約2時間30分

● 使用電池

ニッケル水素充電電池HR-3UA：三洋電機(株)製

単3形アルカリ電池LR6：松下電池工業(株)製

● 電池寿命は電池メーカーによって異なります。

● 記録メディア：SDメモリーカード

● 測定条件

※1 撮影枚数(CIPA)

温度23°C、液晶モニターオン、30秒毎にズームのワイド端とテレ端で交互に撮影、フラッシュ発光(2枚に1回)、10回撮影に1度電源を切/入操作

※2 連続撮影枚数


温度23°C、液晶モニターオン、フラッシュ非点灯、10秒毎にズームのワイド端とテレ端で交互に撮影

※3 連続再生時間

温度23°C、約10秒に1枚ページ送り

- フラッシュやズームなどの使用頻度や電源が入った状態の時間により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。
- 各電池の特性の違いからバッテリー残量表示の変化のスピードも各々で異なります。

■ 電池を長持ちさせるために

- フラッシュを使用しないで撮影するときは、フラッシュの発光方法を (発光禁止)に設定してご使用いただくと、電池寿命が長くなります(46ページ)。
- オートパワーオフ機能やスリープ機能(33ページ)を使用することにより、電源の切り忘れなどのむだな電力消費をおさえることができます。
- 【DISP】を押して【液晶モニター】をオフにすると、消費電力が小さくなります。

■ 電池特性による注意事項(アルカリ電池について)

アルカリ電池の持続時間は、メーカーや保存期間、使用温度、撮影条件により大きく異なります。通常ご使用になる場合、持続時間の長いニッケル水素充電電池のご使用をおすすめいたします。

- 5℃以下の温度ではカメラが動作しなかったり、最初から「電池容量が無くなりました」と表示される場合があります。なお、RECモードに比べてPLAYモード時の消費電流は小さいため、RECモードで電源が立ち上がらない場合でもPLAYモードでは電源が立ち上がる場合があります。

■ 電池使用時の注意事項



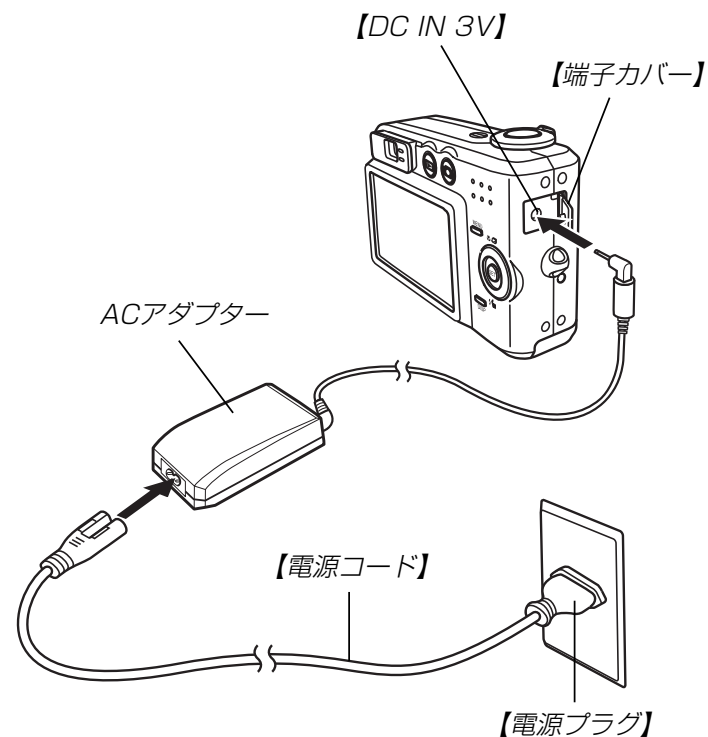
- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災、けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
 - 極性(⊕と⊖の向き)に注意して正しく入れてください。
 - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
 - 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
 - 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。
- 電池は、分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。
- 使えなくなった電池は漏液して故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。
 - 2週間以上使用しないときは、取り出しておいてください。
 - 電池が消耗してくると熱を持ちますが故障ではありません。

家庭用電源を使う

家庭用電源で本機を使うときには、別売のACアダプター(AD-C30)が必要です。

1. 【電源コード】をACアダプターに接続します。
2. カメラの【端子カバー】を開き、【DC IN 3V】にACアダプターのプラグを接続します。

3. 【電源プラグ】をコンセントに接続します。



準備する

■ 海外でのご使用について



- ACアダプターはAC100V～240V・50/60Hzの電源に対応していますので、海外への旅行の際にもご利用できます。ただし、電源コードは125Vまでの対応ですので、旅行代理店などで、現地で使用可能かどうかを事前にご確認いただき、使用する国や地域に合ったプラグ形状の市販電源コードをお買い求めください。


■ ACアダプター使用時のご注意


- ACアダプターを抜き差しする際は、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。
- 本機に電池をセットした状態でACアダプターを使う場合でも、電源を入れたままACアダプターの抜き差しをするのはおやめください。電源を入れたままACアダプターの抜き差しを行うと製品保護のために本機の電源は一度切れますが、保護しきれずに故障の原因となります。
- ACアダプターは長時間使用すると若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。
- ACアダプターのプラグを差し込むと、電池よりもACアダプターが優先されます。
- パソコンと接続する際は、ACアダプターをお使いください。
- ACアダプターの上に毛布などがかぶらないようにしてください。火災の原因となります。

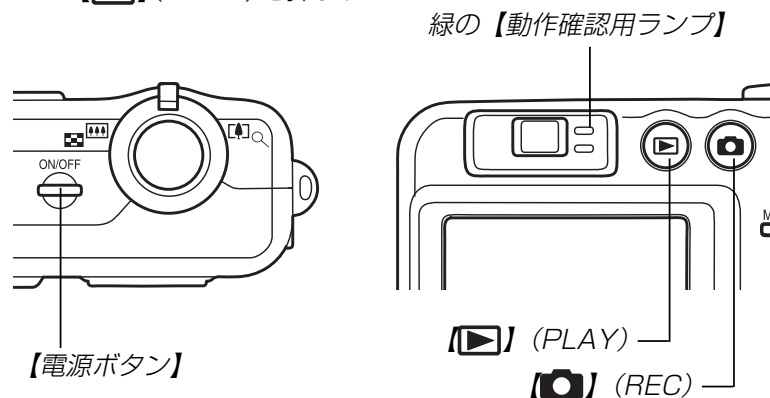
電源を入れる／切る

■ 電源を入れる




電源を入れる場合は、【電源ボタン】または【】(REC)／【】(PLAY)を押すと、緑の【動作確認用ランプ】が一時点灯し、電源が入ります。押すボタンによって電源が入った後の状態が異なります。

REC(撮影)モードで電源を入れたいとき
：【電源ボタン】または【】(REC)を押す。

PLAY(再生)モードで電源を入れたいとき
：【】(PLAY)を押す。



- 参考**
- 電源が入っているときに【】(REC)を押すとRECモードに、【】(PLAY)を押すとPLAYモードに切り替わります。
 - RECモードから【】(PLAY)を押してPLAYモードに切り替えると、約10秒後にレンズが収納されます。

- 重要!**
- オートパワーオフ機能により電源が切れた場合は、再度【電源ボタン】または【】(REC)／【】(PLAY)を押して電源を入れてください。
 - 【電源ボタン】または【】(REC)を押して電源を入れると、レンズが出てきます。その際にレンズを押さえたり、ぶつけたりしないようご注意ください。

■ 電源を切る

電源を切る場合は、【電源ボタン】を押すと、電源が切れます。

- 参考**
- 【】(REC)や【】(PLAY)を押しても電源が入らないようにしたり、【】(REC)や【】(PLAY)を押して電源を切ることができるように設定することができます。詳しくは「【】(REC)／【】(PLAY)の動作を設定する」(106ページ)をご覧ください。

電池の消耗を抑えるための機能

電池の消耗を抑えるために、以下の2通りの設定ができます。

スリープ : RECモード時に一定時間操作をしないと、【液晶モニター】のみ消灯します。ボタン操作をすると【液晶モニター】が再度点灯します。

オートパワーオフ : 一定時間操作しないと電源が切れます。

1. 電源を入れます。
2. 【MENU】を押します。
3. 【◀】【▶】で“設定”タブを選びます。
4. 【▲】【▼】で設定したい項目を選び、【▶】を押します。
スリープの設定：“スリープ”
オートパワーオフの設定：“オートパワーオフ”
 - メニューのたどりかたについては34ページを参照してください。

5. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

スリープの設定内容：“30秒”“1分”“2分”“切”


オートパワーオフの設定内容：“2分”“5分”

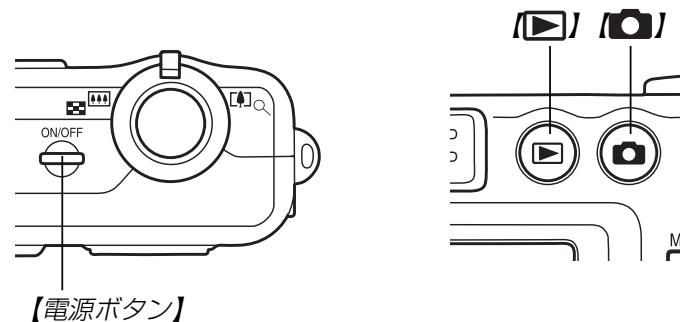
- PLAYモードではスリープは働きません。
- スリープ中にいずれかのボタンを押すと、スリープを解除して、すぐに撮影できる状態になります。
- 以下の状態では、オートパワーオフ、スリープは働きません。
 - － 本機の【USB接続端子】を通じてパソコンなどと接続しているとき
 - － 動画再生中

メニュー画面の操作について

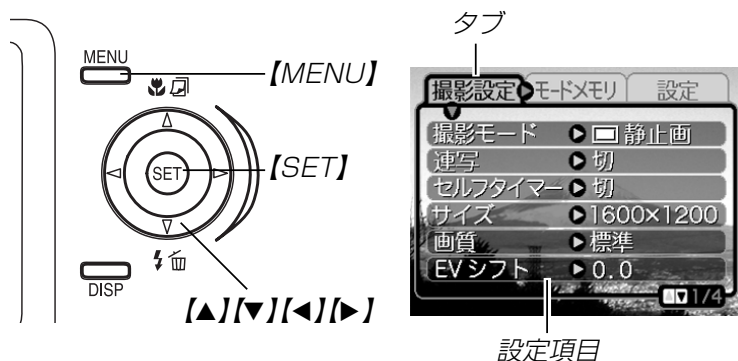
本機ではメニュー画面を使用してさまざまな操作を行います。この操作をまず覚えてください。【MENU】を押すと、メニュー画面が表示されます。メニューの内容はREC(撮影)モードとPLAY(再生)モードでは異なります。ここでは例としてRECモードでの操作を説明します。

1. 【電源ボタン】または【】(REC)を押します。

- PLAYモードにして操作を行うときは【】(PLAY)を押します。



2. 【MENU】を押します。



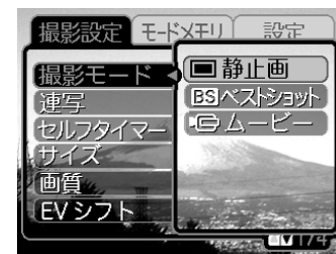
●メニュー画面で使うキーについて

【◀】【▶】	タブを選びます。【▶】は項目の決定にも使います。
【▲】【▼】	設定項目を選びます。
【SET】	選択した項目に決定します。
【MENU】	メニュー画面の操作を中断します。

3. 【◀】【▶】で設定したい項目のあるタブを選びます。

4. 【▲】【▼】で設定したい項目を選び、【▶】を押します。

- 【▶】を押す代わりに【SET】を押しても、次の画面に移ります。



例) 設定項目“撮影モード”を選んだ場合

5. 【▲】【▼】で設定内容を選びます。

6. 選択した内容を決定します。

- 【SET】を押すと内容が決定され、メニュー画面から出ます。
- 【◀】を押すと内容が決定され、メニュー画面に戻ります。続けて他の項目を設定することができます。
- 他のタブに移りたいときは、【◀】を押して、【▲】でタブに戻り、【◀】【▶】で他のタブに移ってください。

- メニューの内容については「メニュー一覧表」(149ページ)を参照してください。

表示言語／日時を設定する

お買い上げ後初めて撮影をする前に、下記の設定を行ってください。

- 画面のメッセージの言語設定
- 自宅の都市の設定
- 表示スタイルの設定
- 日時設定(この日時は、印刷情報などに利用されます)

- 重要!**
- 日時を設定しないと、間違った時間データによって記録されてしまいますので、必ず設定してください。
 - 下記のような電源が供給されない状態で約2日間放置した場合は、日時がリセットされてしまいます。
 - 充電式電池が消耗している／充電式電池を取り外している
 - 別売のACアダプターを電源として使用時に、ACアダプターが接続されていない
 - 日時がリセットされているときに電源を入れると、日時設定画面が表示されます。その場合は、再度日時を設定してください。
 - 誤って設定してしまった場合は、表示言語／日時を設定し直すことができます(101、105ページ)。

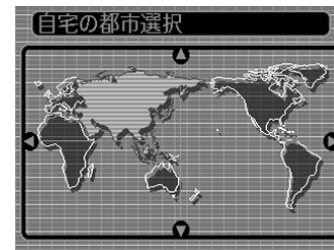
1. 【電源ボタン】または【】(REC)／【】(PLAY)を押して、電源を入れます。

2. 【▲】【▼】【◀】【▶】で言語を選び、【SET】を押します。

- | | |
|-----------|-----------|
| 日本語 | : 日本語 |
| English | : 英語 |
| Français | : フランス語 |
| Deutsch | : ドイツ語 |
| Español | : スペイン語 |
| Italiano | : イタリア語 |
| Português | : ポルトガル語 |
| 中國語 | : 中国語(繁体) |
| 中国語 | : 中国語(簡体) |
| 한국어 | : 韓国語 |



3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自分の住んでいる地域を選び、【SET】を押します。



4. 【▲】【▼】で自分の住んでいる都市を選び、【SET】を押します。

- 日本で使う場合は“Tokyo”を選んでください。



5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選び、【SET】を押します。

入：サマータイムになります。

切：通常の時刻になります。

- 日本で使う場合は“切”を選んでください。

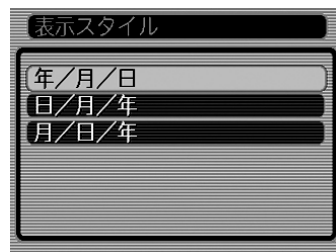
6. 【▲】【▼】で画面に表示される日付のスタイルを選び、【SET】を押します。

例) 2004年12月24日

年／月／日：04/12/24

日／月／年：24/12/04

月／日／年：12/24/04



7. 日付と時刻を合わせます。

【▲】【▼】を押す：

カーソル(選択枠)の部分の数字を変えます。

【◀】【▶】を押す：

カーソル(選択枠)を移動します。

【DISP】：

12時間表示と24時間表示の切り替えができます。



8. 【SET】を押して、設定を終了します。